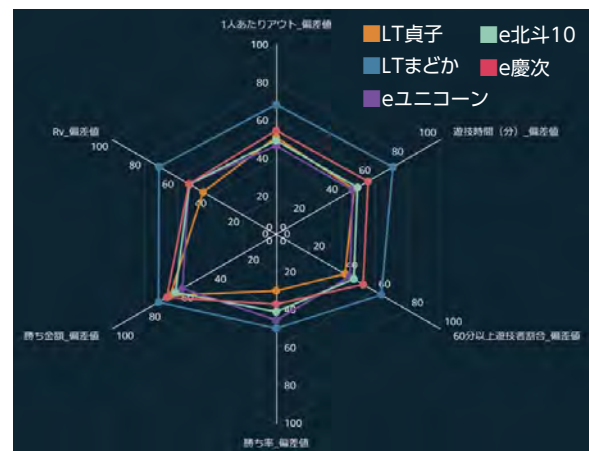




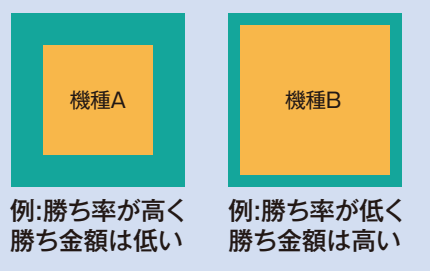
「TRYSEM」の統計データを活用した分析レポート「TRYSEM CROSS」。月1回(毎月20日)発行。

偏差値分析(機種分析)



©THINX-LAB.OLAP SIS ©SUNTAC|TRYSEMよりデータ引用

同社の機種分析は、主要6項目を基に偏差値分析による相対評価を行う。評価軸はサンプルで、遊技機が有する「勝ちの魅力」(勝ち率、勝ち金額、Rv)に引き寄せられ、プレイヤーはどれだけ粘り込んでいる(1人あたりアウト、遊技時間、60分以上遊技者割合)のかというモノサシを通して、各機種の優劣を判断(チャートの6角形の面積が大きいほどポテンシャルが高い)する。



「Rv」とは!?
遊技機の総量規制(出玉規制)の範囲で、各機種がどこまで勝ちの魅力の面積を広げられたかを表した指標。画像の例では、緑色の面積が総量規制値、黄色の面積がRvとなる。Rvが高い=面積が広い=勝ちの魅力が高いと判断できる。



レポート執筆者
株THINX・吉元一夢代表取締役

「同じ4万発の稼働でも、一人当たりのアウトが高いほど、その遊技機を面白いと感じて打っているユーザーが多いと推察できます。プレイヤーの心

吉元代表取締役は「データを十分に活用できていないホール企業が多いです。『TRYSEM CROSS』では、同じデータでも見方や見せ方を変えることで異なるインサイト(遊技者の隠れた本音)が得られます」と語る。例えば、機種評価を行う際、アウトの実績データの高低だけで判断するケースが多い。しかし『TRYSEM CROSS』では、単なるアウトや遊技時間も重視し、機種のポテンシャルを分析している。

「遊び方の質(1人あたりのアウトや遊技時間、60分以上の遊技者割合)とも相関関係が強く、プレイヤーはその機種を「楽しい」「魅力的」と感じていると判断できます」と語る。Rvは、スペックやデー

「同じ4万発の稼働でも、一人当たりのアウトが高いほど、その遊技機を面白いと感じて打っているユーザーが多いと推察できます。プレイヤーの心理に沿った評価こそ、正確な機種評価と言えるでしょう。」

遊技者心理を可視化 独自の分析指標「Rv」

同社の機種分析は、主要6項目を基に偏差値分析による相対評価を行っている。この「六角形」が大きいほど、遊技機のポテンシャルが高いと判断する(詳細は上図参照)。

中でも注目すべきは独自の分析指標「Rv」だ。Rvとはリワードバリエーションの略で、「勝ちの魅力」を数値化したデータだ。

吉元代表取締役は「勝ち率と勝ち金額を掛け合わせて算出するRvは、基本的にその値が高いほど『勝ちの魅力』が高いと言えますが、加えて『遊び方の質(1人あたりのアウトや遊技時間、60分以上の遊技者割合)とも相関関係が強く、プレイヤーはその機種を「楽しい」「魅力的」と感じていると判断できます」と語る。Rvは、スペックやデー

●SUNTAC 公式 Facebook
suntac facebook 検索
https://www.facebook.com/suntacnet

●THINX-LAB 公式 HP
thinx-lab 検索
https://www.thinx-lab.com/

「精度向上によるミスのない機種選定」

これまで各機種のスペック分析に時間をかけていたホール関係者は、プレイヤー心理を想定した分析結果を把握することで、機種選定の精度を上げることが可能となる。

吉元代表取締役は「機種のヒット予測を100%の精度で行うことは難しいですが、ミスを減らし、より良い選定に役立てていただければと思います」と述べる。

レポートは左記のサイトから閲覧可能なので、ぜひチェックしてほしい。

機種分析レポート TRYSEM CROSS



TRYSEM CROSS

遊技機運用のヒントになる「知見」「ノウハウ」を凝縮
機種評価の本質はユーザー心理から

機種評価のレポートは数あれど、単なる予想屋の域を出ないものも少なくない。(株)SUNTACが発行する機種分析レポート「TRYSEM CROSS」は、機種評価の本質に迫る独自の視点のポイントだ。

全国統計データ閲覧サービス「TRYSEM」は、各社のホールの垣根を超えて「真の業界平均」を迅速に把握できるのが特徴だ。クラウドと店舗システムの連携(下図参照)により、どこからでも営業データを確認できる。市場統計データと自店データを組み合わせた機種分析や、秒単位の営業データ収集による客数分析が強みとなっている。

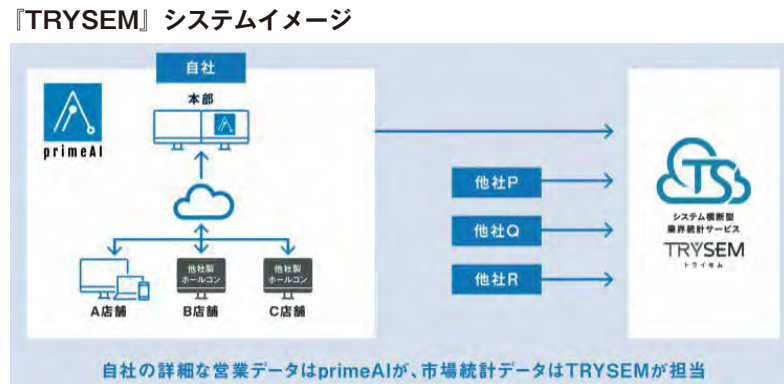
今回、ピックアップする「TRYSEM CROSS」は、「TRYSEM」の統計データを活用した分析レポートだ。原則月1回の発行で毎回、トレンド機種やスペックカテゴリ、ゲーム性に焦点を当て、データ分析結果とポテンシャルを詳細に解説している。また、デー

データの事実だけでなく、マーケティングに役立つ「知見」や「ノウハウ」も提供している点が特徴だ。

レポートの執筆者は、本誌連載でもお馴染みの(株)THINXの吉元一夢代表取締役。同氏は業界唯一の「統計士」の資格を持つデータ分析の専門家として幅広く活躍している。

データは食材 どう調理するか

業界には「TRYSEM」以外にもホールの営業データを把握するサービスが多く存在する。技術の進歩でサービ



DATA
株式会社THINX

●電話
079-450-9286

●所在地
兵庫県加古川市加古川町
篠原町13-3 まるいビル1F

●WEB
https://www.thinx.co.jp